



株式会社

エービーエム

2019年度

環境経営レポート

(南陽市勤労者総合福祉センター)

2019年4月～2020年3月

発行日：2020年7月1日

豊かに快適な環境を求めて…



爽やかな笑顔、
真心のサービス



環境経営レポート部門



®環境省
エコアクション21
認証番号0011545



社 是

私達は、技術・知識の向上に努め
安全・安心・清潔のサービスをモットーに
快適な環境を社会へ提供します。

経 営 方 針

私達は お客様感動を達成します。
私達は 事故ゼロを継続します。
私達は 不祥事案を撲滅します。
私達は 環境方針を推進します。

環 境 経 営 方 針

環境理念

私たちは、ふるさとの豊かな環境を守り、持続可能な社会の実現を目指すため、環境マネジメントシステムの継続的な運用改善を図り、自らの環境負荷を可能な限り削減していくとともに、総合ビル管理、警備、指定管理等の業務を通じて、「安全・安心・清潔」に関する技術と真心サービスを提供しつつ、お客様の環境負荷の削減にも寄与してまいります。

環境行動指針

1. 環境関連法規等を遵守します。
2. 電力使用、化石燃料の消費に伴い発生する二酸化炭素を計画的に削減していきます。
3. 廃棄物を可能な限り削減するとともに分別を徹底し、リサイクル率の向上に努めます。
4. 節水に努め、水資源を大切にします。
5. 化学物質の使用量を削減していきます。
6. 社員のスキル向上により、業務の効率化を図り、他社との差別化を図ります。
7. お客様の環境負荷削減につながる提案を積極的に行い、可能な範囲で実践します。
8. 地域の環境保全活動に貢献します。

制定日：平成28年6月1日

最終改定日：令和元年5月1日

代表取締役社長 赤間俊明

2. 組織の概要



2-1. 事業者名及び代表者氏名

- 株式会社エービーエム
- 代表取締役社長 赤間俊明

2-2. 所在地

- 本社：〒992-0003 山形県米沢市窪田町窪田 584-2
- 指定管理施設「南陽市勤労者総合福祉センター」
〒992-0472 山形県南陽市宮内4526-1

2-3. 環境管理責任者及び担当者連絡先

- 環境管理責任者：企画・人事部部長 田口浩之
- 施設環境管理責任者：五十嵐久人
- 連絡先：TEL. 0238-47-6445

2-4. 施設概要

ワトワセンター南陽(南陽市勤労者総合福祉センター)は、中小企業に働く皆様の福祉の充実と勤労意欲の向上などを目的に、職業の情報提供を行うほか、文化・教養・研修活動を通じ、雇用の促進と職業の安定とを実現するための施設です。

- 平成5年12月1日 雇用促進事業団委託施設として供用開始
その後平成16年4月 建物売買契約後、市有財産として運営開始
- 構造：鉄骨コンクリート造屋根平屋建
- 施設内容：多目的ホール、会議室、研修室、音楽室、
教養文化室、事務室、屋外テニスコート
- 敷地面積 3582.23㎡ 建築面積 977.28㎡ 延べ面積977.28㎡
全天候型砂入人工芝テニスコート 面積1383.0㎡
- 常勤社員：6名(正社員1名、パート社員5名)



2-5. 施設利用状況

事業年度	平成27年度 (H27.4~H28.3)	平成28年度 (H28.4~H29.3)	平成29年度 (H29.4~H30.3)	平成30年度 (H30.4~H31.3)	令和元年度 (H31.4~R2.3)
事業規模					
利用料金収入額(円)	4,434,845	4,434,905	4,262,540	4,360,635	4,385,410
施設利用人数(人)	27,558	27,361	22,718	22,297	22,531
※令和元年度は新型コロナウイルスの影響で3月利用のキャンセルで減少					



3. 環境目標とその実績



3-1. 環境負荷の現状(令和元年度環境負荷自己チェック結果より)

■ 二酸化炭素排出量

※電力使用に係る二酸化炭素排出係数については、H30年度東北電力(調整後:0.528)を用いています。

1) 当施設における令和元年度のCO₂排出量は合計56,060kg-CO₂となっており、前年度比2.4%減少しました。これは平均的な一般家庭13.5軒分の排出量に相当します。(平成30年度1世帯あたりの平均年間排出量は4,150kg-CO₂:出典:温室効果ガスインベントリオフィス)

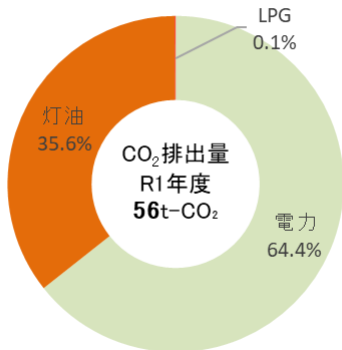
2) 当施設から排出されるCO₂の64.4%は電力の使用に伴うもので36,083kg-CO₂(前年度比6.8%減)、次いで灯油の消費に伴うものが35.6%、19,935kg-CO₂(前年度比6.6%増)、LPGが42kg-CO₂(前年度比25%減)となっています。

3) 電力は施設の照明、テニスコートの夜間照明、冷暖房の稼働で使用しています。また、灯油は冷暖房ボイラー運転用、LPGは給湯、利用者のシャワー用となっています。

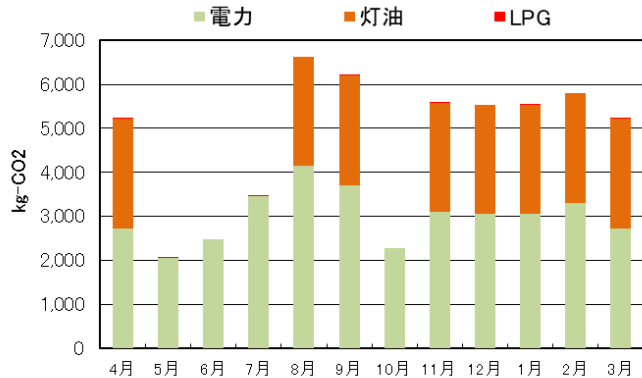
4) 月別のCO₂発生量は夏期の8月、9月と冬期間11月~3月に多くなっています。これは、当館の空調機は吸収冷温水機を使用しており、冷房時、暖房時ともに灯油と電気を同時に使用するため増加しています。

5) 以上のことから、灯油使用量の削減と電力使用量の削減が重点課題となりますが、特に空調機は設置から相当の年数が経っており、空調設備の切替時には、省エネ機器への交換や、館内のLED化を行政に提案し、実施していくことが必要であると思います。

<二酸化炭素の排出源(R1年度)>



<月別二酸化炭素排出量(R1年度)>



■ 廃棄物排出量

■一般廃棄物:可燃ごみ、紙類(資源回収対象)などは、行政の分別ルールに従い、それぞれ、量を把握した上で排出しています。可燃ゴミが最も多く31kg、次いで古紙・コピー紙が25kg、廃プラが2.0kgでした。リサイクル率は45%となっていました。

可燃ごみは利用者の持ち込みゴミ、個人情報が入った書類はシュレッダーをかけているためシュレッダーゴミといった可燃ごみが発生しています。館内にはゴミ箱は設置しておりませんが、給湯室の茶殻や残渣、トイレのゴミも含まれています。

■産業廃棄物:排出されたのは廃蛍光灯で4kgでした。照明器具の経年劣化により、通常よりも蛍光灯の寿命も短くなっていると思います。乾電池は全て充電式のものに切り替えています。

■ 総排水量(水使用量)

上水のみ使用しており、年間493m³(前年度540m³)使用し、下水道に排出しております。前年度より8.7%減少しました。用途は生活排水(トイレ、手洗い、シャワー)のほか、花の水遣り、空調設備のクーリングタワー等での補給水が挙げられます。

■ 化学物質使用量(購入量)

該当する物質について、本社・南陽営業所データに含まれています。

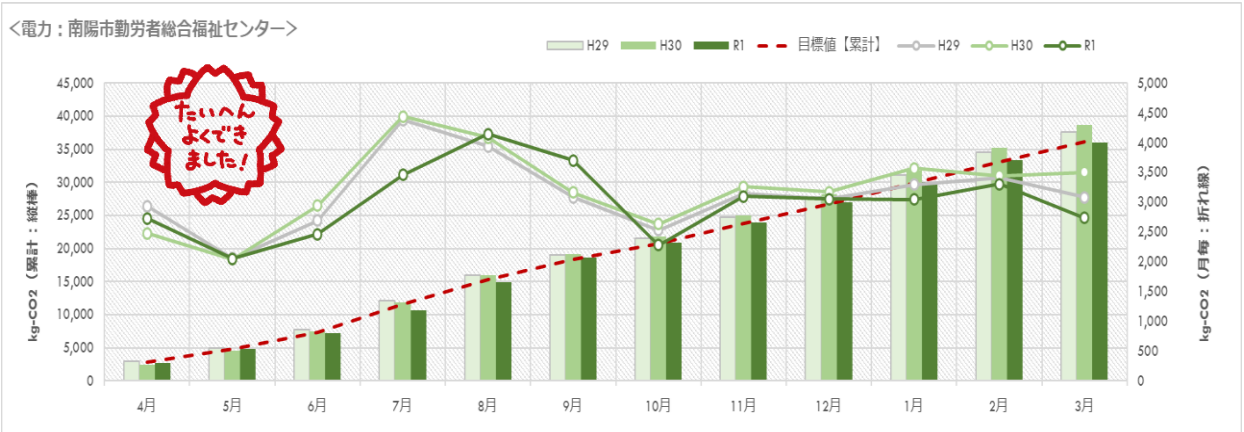


3-2. 環境目標（単年度・中期）と達成状況

環境経営方針との整合性を図りながら、環境負荷の自己チェックの結果を踏まえ、二酸化炭素、廃棄物、水、グリーン購入について、環境目標（単年度目標&5年間の中期目標）とその達成に向けた活動計画を策定し、取組を行いました。達成状況は下記のとおりです。

■ 二酸化炭素排出量（電 力）

【R1年度目標】 H29年度比4%削減
 【中期目標（H30~R4）】 H29年度比10%削減



【取組結果】（取組期間：H31.4~R2.3）

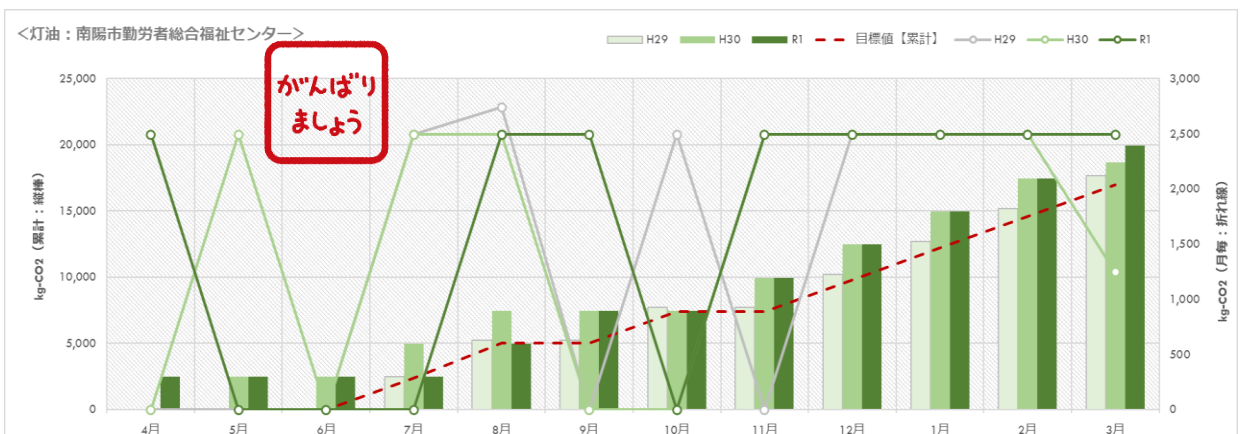
- 基準年度実績：37,609kg-CO₂
- 取組期間目標：36,105kg-CO₂
- 取組期間実績：36,083kg-CO₂
- 増減量：+1,526kg-CO₂
- 増減率：+4.05%

【評価コメント】

令和元年度は冷夏だったこともあり、空調を控えて利用されるお客様が多かったのですが、お盆過ぎから暑くなり例年に比べて使用量は増加しました。暖冬だったこともあり、暖房による使用量が減少したこと、さらに新型コロナの影響もあって利用者数が減ったこともあり、1年を通してみると目標を達成することができました。

■ 二酸化炭素排出量（灯 油）

【R1年度目標】 H29年度比4%削減
 【中期目標（H30~R4）】 H29年度比10%削減



【取組結果】（取組期間：H31.4~R2.3）

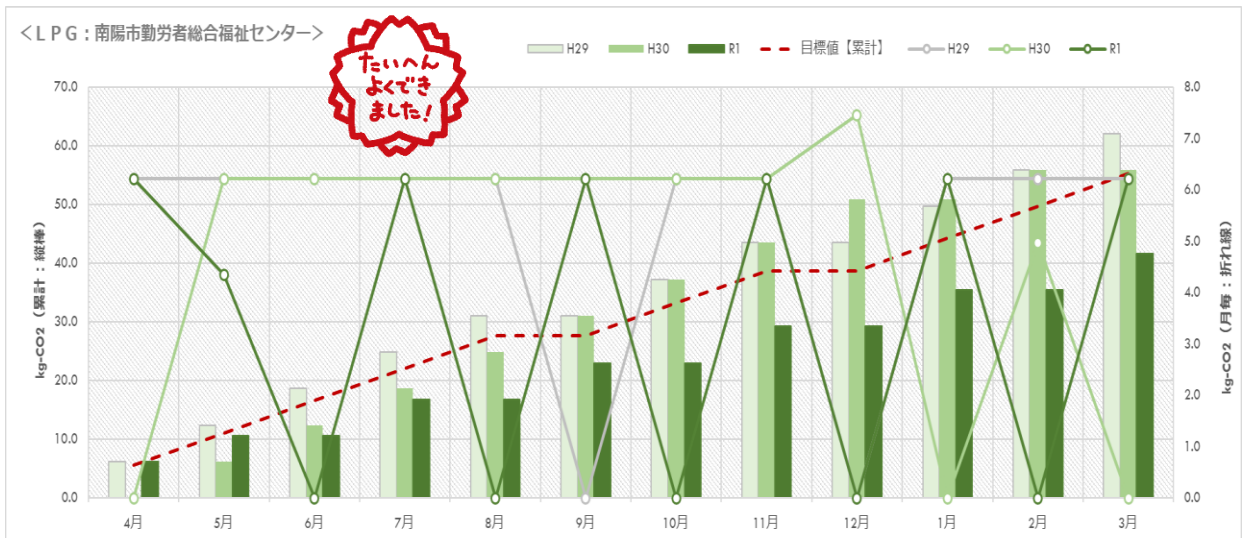
- 基準年度実績：17,693kg-CO₂
- 取組期間目標：16,985kg-CO₂
- 取組期間実績：19,935kg-CO₂
- 増減量：+2,242kg-CO₂
- 増減率：+12.6%

【評価コメント】

令和元年度は冷夏だったこともあり、空調を控えて利用されるお客様が多かったのですが、お盆過ぎから暑くなり残暑の影響が長引き、例年に比べて使用量は増加しました。また、冬は暖冬でしたが、利用件数が増えたため、空調利用によって使用量が増え、結果、目標を達成することができませんでした。

■ 二酸化炭素排出量 (L P G)

【R1年度目標】 H29年度比 11%削減
 【中期目標 (H30~R4)】 H29年度比 14%削減



【取組結果】 (取組期間: H31.4~R2.3)

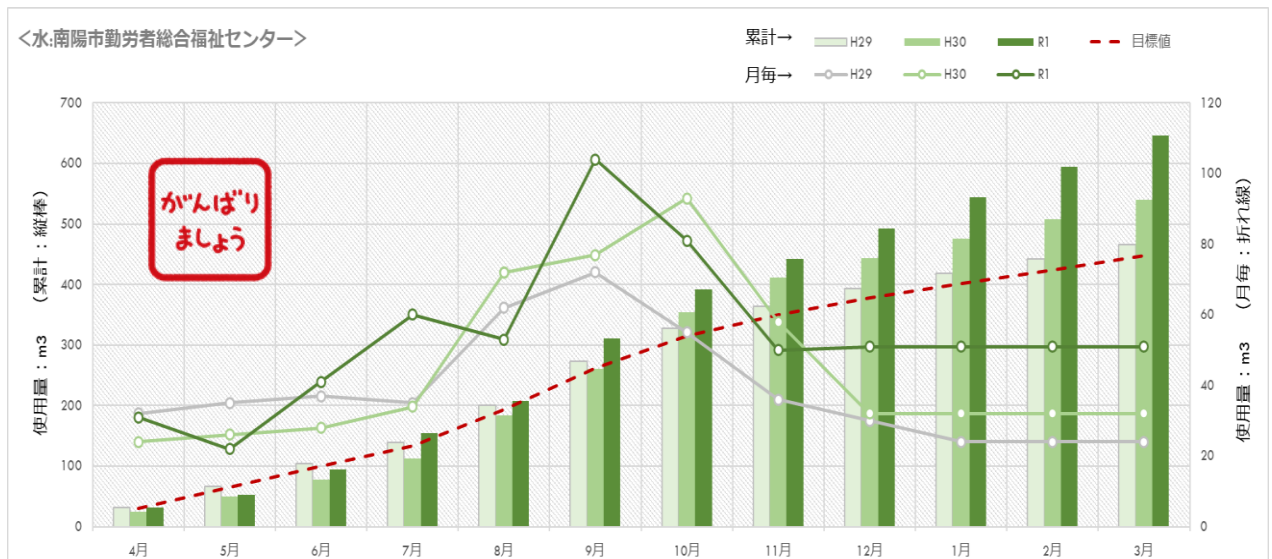
- 基準年度実績: 62.1kg-CO₂
- 取組期間目標: 55.3kg-CO₂
- 取組期間実績: 41.6kg-CO₂
- 増減量: -20.5kg-CO₂
- 増減率: -33%

【評価コメント】

もともとガスの使用量は少ないですが、給湯室などに省エネ推進の掲示物を掲示した効果があったと思います。また、暖冬だったこともあり、給湯温度も比較的抑えることができ、前年度よりもさらに大きく削減し、目標を達成することができました。

■ 水使用量

【R1年度目標】 H29年度比 4%削減
 【中期目標 (H30~R4)】 H29年度比 10%削減



【取組結果】 (取組期間: H31.4~R2.3)

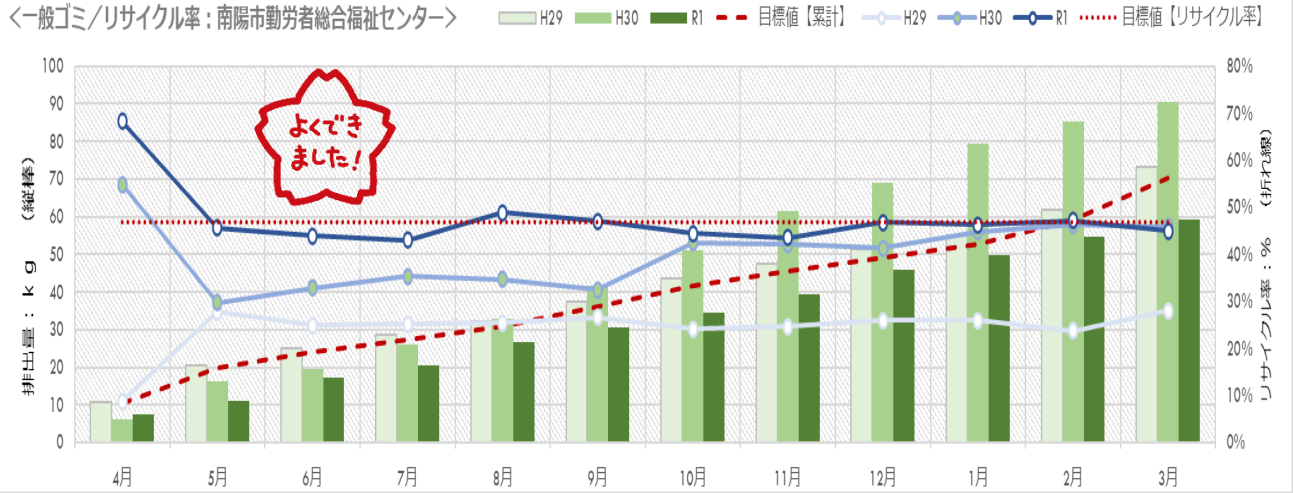
- 基準年度実績: 466 m³
- 取組期間目標: 447 m³
- 取組期間実績: 646 m³ ※ (冬期間は推定水量)
- 増減量: +180 m³
- 増減率: +38.6%

【評価コメント】

当初は使用量を抑えることができました。6月から7月にかけて使用量が例年と比較し増加。原因は特定できていませんが、屋外の蛇口が終日利用できる状態だったため、念のため閉館時は使用できないように対策を講じました。また冷温水発生機が古いいため供給される水量が増加していることも原因と推測しています。利用件数も増加しており、結果目標を達成することができませんでした。(冬期間は推定推量)

■ 一般廃棄物排出量

【R1年度目標】 H29年度比で排出量4%削減／リサイクル率20%向上
 【中期目標（H30～R4）】 H29年度比で排出量10%削減 リサイクル率20%向上を維持



【取組結果】（取組期間：H31.4～R2.3）

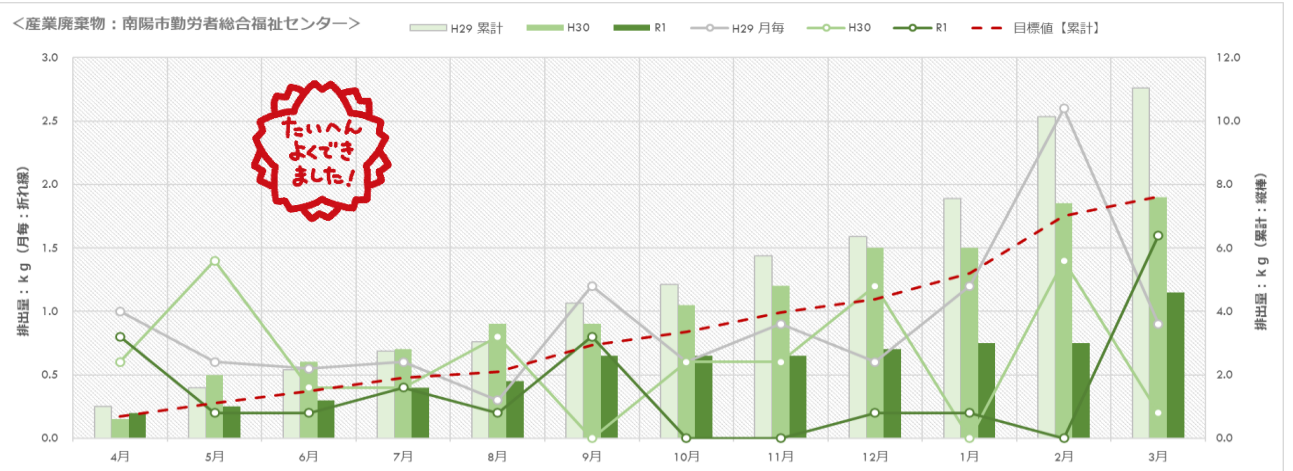
- 基準年度実績：排出量 73kg リサイクル率 27%
- 取組期間目標：排出量 70kg リサイクル率 47%
- 取組期間実績：排出量 59.4kg リサイクル率 45%
- 増減量：排出量 -13.6kg リサイクル率 +18%
- 増減率：排出量 +18.6%

【評価コメント】

来館者のゴミの持ち帰りを推進するため、館内のゴミ箱を撤去しました。利用件数は増加しましたが、ゴミの量は大幅に削減することができました。リサイクル率は、可燃ゴミ全体の量が減少したこともあり、リサイクルごみの割合も小さくなり、目標には若干届きませんでした。

■ 産業廃棄物排出量

【R1年度目標】 H29年度比31%削減
 【中期目標（H30～R4）】 H29年度比31%削減を維持



【取組結果】（取組期間：H31.4～R2.3）

- 基準年度実績：11.1kg
- 取組期間目標：7.6g
- 取組期間実績：4.6kg
- 増減量：-6.5kg
- 増減率：-58.4%

【評価コメント】

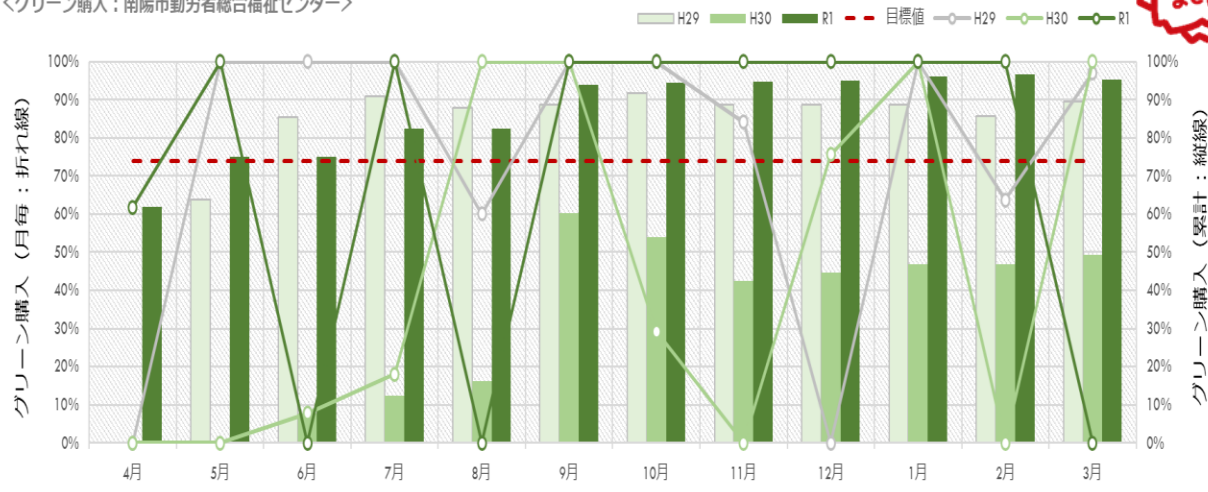
基準年度と比べると、乾電池を充電式にしたことで、排出量が削減できました。また、令和元年度は蛍光灯交換の頻度が少なく、結果排出量を抑えることができ、目標を達成することができました。

■ グリーン購入

【R1年度目標】グリーン購入率74%以上
 【中期目標（H30～R4）】グリーン購入率80%以上



＜グリーン購入：南陽市勤労者総合福祉センター＞



【取組結果】（取組期間：H31.4～R2.3）

- 取組期間目標：74%
- 取組期間実績：95%

【評価コメント】

当初からグリーン商品を意識して購入しており、維持することが出来ました。結果、目標を大きく超え、達成することができました。



私たちは、毎月実施しているスタッフミーティングの前に、ワトワセンター周辺地域の環境美化活動に取り組んでいます。



4. 環境活動計画と取組結果 並びに次年度の取組内容



<評価判定の目安>

- …実施済。80%以上の社員が取組んでいる。80点以上の満足度である。
- △…一部未実施。50～80%の社員が取組んでいる。50～80点ぐらいの満足度である。
- ×…未実施。50%未満の社員しか取組んでいない。50点未満の満足度である。(是正処置の対象)

環境経営 目標	活動・取組項目	活動の具体的内容 (どのように)	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	備考、是正処置 の必要性等
二酸化炭素排出量の削減	■消費電力の削減	■室温は、暖房期20℃、冷房期28℃で管理	○	○	○	○	
		■サーキュレーターを稼働させ、室内温度差をなくす	×	×	×	×	サーキュレーター購入を検討
		■使用していない部屋のエアコンはOFF	○	○	○	○	
		■定期的にエアコンのフィルターを清掃	○	○	○	○	
		■不要な照明は消灯	△	△	○	○	空室にも関わらず消し忘れ。
		■クールビズの推進(機能性下着の着用)	△	△			
		■ウォームビズの推進(保温性の高い下着の着用)			△	○	
		■パソコンは省エネモードで使用	○	○	○	○	
		■トイレの暖房便座は夏期OFF(温水の温度設定は「低」)	○	○			
		■グリーンカーテン	×	×			グリーンカーテン実施を検討
	■窓にすだれを垂らし、直射日光を防ぐ	×	×			すだれ購入・設置	
	■その他化石燃料の削減 (灯油・LPG)	■暖房温度は決められた温度以下で管理する。	○	—	○	○	
		■窓の内側に断熱材を貼り付ける			○	○	事務所のみ実施
		■ウォームビズの徹底(服装による省エネ推進)	—	—	○	○	
■必要最低限の温度で給湯(夏期は使用しない)		△	△	○	○		
の削減と適正管理	■一般廃棄物の削減 (リサイクルの推進)	■廃棄物置場の整理整頓	△	△	△	△	不燃ごみは市で回収予定
		■不要な資料・カタログ等の辞退・返却	△	△	△	○	関係施設からのチラシが多い
		■コピー用紙削減(両面コピー・裏紙利用の徹底)	○	○	○	○	
		■一般廃棄物の排出量記録	○	○	○	○	
	■産業廃棄物の削減と適正管理	■社内の整理整頓	△	△	△	△	
		■保管場所の管理(安全衛生状態も含む)	△	△	△	△	機械室内で囲いが無い状態
		■充電式乾電池への転換	×	○	○	○	ワイヤレスマイクに充電電池使用
		■マニフェスト・契約書類の管理	○	○	○	○	
の削減	■水道使用量の削減	■「節水」の掲示	○	○	○	○	
		■蛇口元栓の調整(必要最小限の流量)	○	○	○	○	
		■地下水の適正利用基準の策定と遵守					
		■その他節水対策機器に関する情報収集	△	△	△	△	
購入	■グリーン購入	■グリーン購入ネットワーク(GPN)認定商品(エコ商品)の選定	○	○	○	○	
		■事務消耗品のエコ商品購入率の把握	○	○	○	○	
(自主設定項目 「製品サービス」)	■社員のスキルアップ	■資格取得者の増加	×	×	×	×	救急救命講習会参加促進
		■社内研修会・勉強会の開催、テキスト参考書購入補助	×	×	×	×	CD研修会への参加促進
	■誤発報による緊急出動回数を減らす	■開始開錠ミスを減らすように教育する。	○	○	○	○	
		■会社周辺の清掃活動	○	○	○		スタッフミーティング前に実施

多くの計画は実施することができましたが、一部未実施だった部分がありました。従業員がいる事務室の窓は車いすの slopes になっていることから安全面からグリーンカーテンを設置することを断念しました。次年度設置場所について、再検討いたします。サーキュレーターの設置についても、費用面で準備することができませんでした。

周辺清掃のゴミ拾い、草むしりを毎月1回実施しているスタッフミーティング前に実施いたしました。今後について、利用が増えることにより、比例して電気使用量や水、灯油などの使用量は増加し、ゴミも増加すると思われるので、利用者への周知及びご協力のお願いを徹底してまいります。



5. 環境関連法規等の遵守状況、 訴訟等の有無



5-1. 適用となる環境関連法規等とその遵守状況

当社が法的義務を受ける環境関連法規の遵守状況は、平成31年4月に関連法規一覧にまとめ、確認した結果、違反はありませんでした。

- 環境基本法等：問題なし
- 大気汚染防止法：問題なし
- ボイラー及び圧力容器安全規則：問題なし
- 水質汚濁防止法（貯油施設）：問題なし（訓練未実施だったため、H30年度中に実施済）
- 消防関係：問題なし
- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律：問題なし（水銀使用製品産業廃棄物の掲示板設置済）
- フロン排出抑制法：問題なし
- 下水道法：問題なし
- 家電リサイクル法：問題なし

5-2. 法令違反・訴訟等の有無

行政からの環境関連法令違反の指摘・指導、環境面での訴訟は、創業以来ありません。



7. 代表者による見直しの結果



平成30年度から、エコアクション21の取組に参加し、早2年が経ちました。この間、エコアクション21中間審査があり、取組について一定の評価をいただくことができました。当施設は他の指定管理施設に比べて、いち早く環境掲示板を設置し、広く利用者へアピールしており、中間審査においても高い評価をいただくことができました。

令和元年度は、第6回和と輪まつりを開催いたしました。様々なアトラクションで当施設の環境への取組のアピールを行いました。例えば、「縁日コーナー」では、オリジナルアクセサリ作りや、スーパーボールすくいなどのゲームに参加できるのですが、これまでは無料で参加できましたが、少し工夫して、『オリジナルアクセサリ作り1回ペットボトルキャップ2個』というように、ペットボトルキャップを「通貨」に見立ててキャップの回収を行いました。スケジュールの都合で子供たちに人気の地元のヒーロー戦隊は来ることが出来ませんでした。開場前から、キャップを袋にたくさん詰めたお子さんが多く集まってくれ、大賑わいとなりました。

令和元年度は指定管理の更新時期でしたが、プロポーザルの結果、今後3年間は当施設の指定管理者として、管理させていただくことになりました。当施設はオープンから20年以上経過し、機械設備、特に空調機や、照明器具、屋外テニスコートの夜間照明などに不具合が生じて、そのため環境負荷が増加しています。今後については、それらの更新と、施設全体のLED化などを進めることで、施設の利用が増加したとしても環境負荷増にならないように、南陽市様と二人三脚で進めていきたいと思っております。

株式会社 エービーエム 代表取締役社長 赤間俊明





第6回和と輪まつり

自主事業として「第6回和と輪まつり」を令和元年9月15日(日)に開催。地域の皆様へのワトワセンターの周知を主旨としていますが、加えてこのイベントを通じ、地域の皆様に『エコ』をもっと身近に感じて頂くという目的も含んでいます。



ペットボトルキャップ1個で綿菓子と交換！



オリジナルアクセサリーづくりのブース
参加料は・・・ペットボトルキャップ2個♪



エコキャップで日本一周プロジェクト！

ワトワセンターの館内に自動販売機を設置しているため、ペットボトルのキャップがゴミとして捨てられていることが多い実状がありました。そこで、少しでも廃棄物を削減することが出来ないか？環境活動に興味を持ってもらえるために考えたのが、このプロジェクトです。

- 1) ワトワセンターで回収したペットボトルキャップの数を3か月に1度計測します。
- 2) キャップ430個を燃やすと3150gのCO₂が発生するといわれています。この時に排出される二酸化炭素を、燃費8.33km/Lの車（日本保有車両の平均燃費）で同じ量の二酸化炭素を排出して走行したと仮定し、走行距離を計算します。
- 3) 日本地図上に走行距離を記録していきます。
スタートはワトワセンターが位置する山形県南陽市、そこから海沿いを走行していきます。
- 4) さらに、現在の到達地点で行われている地域の環境に関するエコ活動情報を調べ、地図上に記載していきます。
- 5) 計測が終わったペットボトルキャップはエコキャップ運動として、発展途上国の子ども向けワクチン代として寄付します。



☆進め方☆

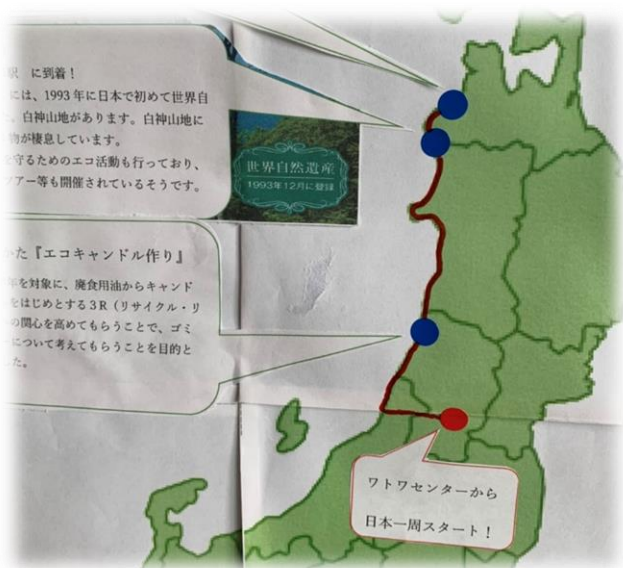
- ・ワトワセンターから出発をし、日本一周をしてワトワに戻ってくるまでを遡る。
- ・ルートは海沿いで一般道のみ（ただし場合によってはフェリーもあり）
- ・Google マップ上で算出、その都度地図上に載せていく。



環境掲示板 inワトワセンター南陽



ワトワセンターでは「情報展示コーナー」の壁一面を環境掲示板として利用し、利用者の皆様へ私たちの活動をPRしています。



「エコキャップで日本一周プロジェクト」
現在の位置は・・・！？



毎月の環境負荷のグラフです



エコキャップ寄付の様子

菊とぶどうといで湯の里南陽は 魅力満載



赤湯ラーメン



熊野大社

この環境活動レポートは、ご希望の方に差し上げています。ご希望の方は、窓口でお申し出
いただくか、下記にご連絡下さい。

南陽市勤労者総合福祉センターHP (<http://www.watowa-nanyo.jp>)

指定管理者株式会社エービーエムHP (<http://www.y-abm.co.jp/>)

エコアクション21中央事務局HP (<http://www.ea21.jp/>) でもご覧いただけます。

〒992-0472山形県南陽市宮内4526-1 TEL. 0238-47-6445